

時期

トピックス

9月
月上旬

■【京阪】座席指定の特急車両「プレミアムカー」導入予定 2017年度

京阪電鉄は、昨年発表した、**座席指定の特急車両の名称を「プレミアムカー」に決めた。2017年上期の導入を目指す。**淀屋橋(大阪市中央区)～出町柳(京都市左京区)間の特急列車「京阪特急」で使用している**8000系電車(8両編成)の6号車**を、座席指定車に改造する。

座席は横1列に3席(1+2席)配置。幅は今より30mm広い460mm、背もたれの高さは今より130mm高い770mmにする。座席間隔(シートピッチ)も現在より100mm広い1020mmとし、リクライニング角度は最大20度になる。一部の席を除いて大型テーブルを設け、**全ての席の肘掛け部にコンセントを設置する。**また、「プレミアムカー」のエンブレムをあしらったヘッドレストとヘッドカバーを設け、足元にはフットライトを設置。**微粒子イオン発生器も設置する。**

導入に伴い8000系電車の改造工事が行われるため、9月24日から8000系の一部を7両編成に変更するほか、一部の列車の使用車両や発着番線を変更する。なお、ダイヤの変更は行わない。



車内イメージ

■訪日外国人強化施策

【大阪キタエリア】

大阪府、公益財団法人大阪観光局とJR西日本が共同で、JR大阪駅に新しい観光案内所「**トラベルサービスセンター大阪(愛称・おもてなしステーション)**」を2017年3月に開設する。増え続ける外国人観光客に対応するため、現在の案内所のスペースを大幅に拡張して移設。観光案内だけでなく、トラブル相談や両替、荷物宅配サービスなど、旅行者が求める機能を1カ所に集約する。

現在は大阪駅の中央口改札の近くに、鉄道と観光の情報を提供する案内所があるが、スペースが50平方メートルと手狭なため、十分な対応が難しくなっている。ちなみに**2015年度は日本人を含め計20万人が案内所を利用した。**

新しいサービスセンターは、中央口改札の正面に整備する予定。観光や鉄道の案内に加え、乗車券や旅行商品の販売、外貨両替などのサービスを提供する。中国語、韓国語を話せるスタッフも新たに配置する。広さは計320平方メートルとなる。開設費用の約1億円のうち、3分の1は府が2017年1月1日から導入する観光振興を目的にした「宿泊税」を充てる。

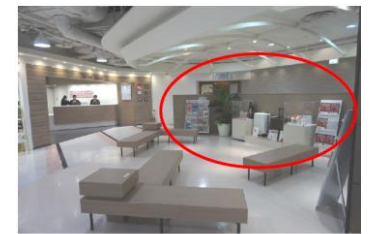
【大阪ミナエリア】

9月1日、南海電鉄がなんばCITY本館地下2階免税カウンター前レストスペースに、外国人観光客に向け手荷物一時預かり窓口(運営:ヤマト運輸株式会社)を設置した。この窓口は**国土交通省が推進する「手ぶら観光」のサービス拠点に認定されている。**

また、なんばCITYとなんばパークスの両施設では、中国人旅行者向けに、中国で人気のSNS「微博(ウェイボー)」「微信(ウィーチャット)」による情報発信を8月1日から開始したほか、9月下旬から「Osaka Free Wi-Fi」のスポットを増設する。



JR大阪駅おもてなしセンター 外観イメージ (2017年3月開設予定)



なんばCITY地下2階免税カウンター前のレストスペース(赤門付近)に手荷物一時預かり窓口を設置します

| 路線 | 両替所 | 免税店 | 土産店 | 情報 |
|-----|-----|------|-----|-------|
| 近畿線 | スター | 近畿観光 | 地下街 | サブアップ |
| 近畿線 | 特急 | 急行 | 急行 | 急行 |
| 近畿線 | 急行 | 急行 | 急行 | 急行 |

| 路線 | 特急 | 急行 | 急行 | 急行 |
|-----|----|----|----|----|
| 近畿線 | 急行 | 急行 | 急行 | 急行 |
| 近畿線 | 急行 | 急行 | 急行 | 急行 |
| 近畿線 | 急行 | 急行 | 急行 | 急行 |

スタンプ一覧

■【阪急】ぐるりの京都再発見の旅

阪急電鉄は、2016年9月に**結成20周年を迎えたロックバンド「ぐるり」とゆかりの深い阪急京都線沿線を巡るスタンプラリーを開催!**

「ぐるり」のメンバーは全員京都出身で、ボーカルの岸田繁氏は阪急電車の愛好家としても知られ、阪急京都線沿線には思い出も深く、作詞・作曲のベースとなった場所が数多くある。

スタンプのデザインは、阪急の駅や沿線にまつわる思い出をもとに、「ぐるり」がセレクトした楽曲名と駅名を「運行標識板風」にデザインしている。

本企画は、京都線の8駅とその駅周辺の店やスポットをぐるりセレクトによる楽曲とともに巡る、「ぐるりに京都の魅力再発見する旅」という主旨となっている。

また、スタンプラリー用の小冊子にはぐるりの各駅での思い出話やぐるり**おすすめのお店も掲載**されていて、ぐるりファンでなくとも楽しめる内容となっている。



スタンプ冊子

スタンプ台

実施期間:2016年9月14日~10月31日

スタンプポイント駅:河原町・烏丸・大宮・西院・桂・東向日・長岡天神・大山崎

プレゼント:スタンプ3個でステッカーorクリアファイル(各先着3,000名)。スタンプすべて集めるとアルバムリリースツアーにペア3組招待(抽選)

■【近鉄】青の交響曲(シンフォニー)乗車体験!

近鉄は、**南大阪線・吉野線の観光特急「青の交響曲(シンフォニー)」**を9月10日から運行開始した。1日2往復の運転で原則として水曜日が運休。

運行区間は、高さが300mと日本一のビル「あべのハルカス」がそびえる大阪阿部野橋駅(大阪市阿倍野区)と、「桜の名所」吉野山の玄関口である吉野駅(奈良県吉野町)の間を走る。この沿線には日本遺産「明日香村」や世界遺産「金峯山寺」、また「みたらい溪谷」や「洞川温泉」、ワイナリーといった観光資源が存在。近鉄によると列車名称「青の交響曲(シンフォニー)」は、そうした場所を『青色の列車』が走り、魅力的な観光資源と調和し響き合うことをイメージして命名したという。

先日、その**近鉄「青の交響曲(シンフォニー)」**に乗車した。

車体は濃紺カラーにゴールドのラインが入り、高級感がある。車内の内装は木目調で照明も生かし重厚感のある空間となっている。シートもピッチが広く、座り心地が良い。

扉の横には本棚があり、奈良の歴史に関する書籍がそろっており、ベンチで読書を楽しむこともできる。

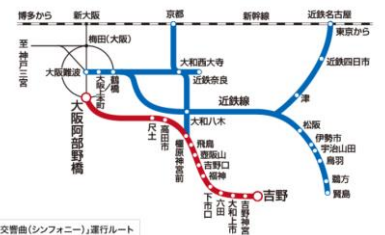
車内では「**伊勢志摩サミット**」でデザートを担当した「大阪マリオット都ホテル ベストリー料理長 赤崎哲朗氏」の車内限定オリジナルケーキや**吉野にちなんだ柿や梨のスウィーツ**もいただける。ラウンジスペースでは車窓向きに座席が配置されているので奈良の雄大な山々を眺めることができる。1時間15分ほどの旅路はあっという間で快適な列車の旅を満喫できる。

また、**運行開始から約3万枚限定で運行開始記念乗車証(吉野杉材)**を提供している。



車体イメージ

車内の様子



「青の交響曲(シンフォニー)」運行ルート

9月
月中旬